

心臓や動脈の手術を受ける予定の方、受けた方

心臓の手術；

成人の心臓の手術は、冠動脈バイパス術、弁置換術、弁形成術が多くをしめます。冠動脈バイパス術とは、心臓の動脈に自分の他の動脈や静脈をつなぐ手術です。冠動脈のどの部位に何の血管をつなぐかによって、今後の管理も変わってきます。3D CT では、バイパス血管を3Dで映すことができますので、有用です（下図）。



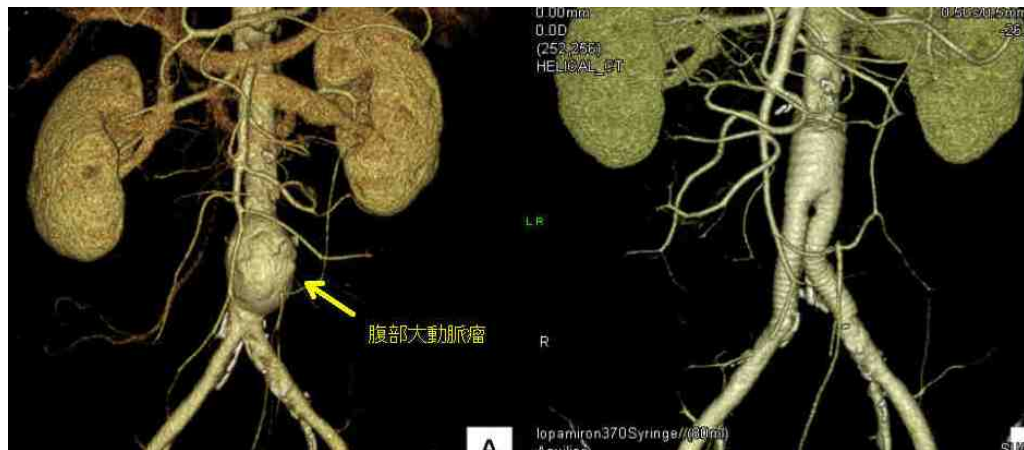
弁置換術は、人工の弁（機械でできた弁や動物の生体弁）を、壊れた弁の代わりに体に入れる手術です。人工弁の部位、種類、不整脈の有無によって、術後のワーファリンの使い方も変わってきますので、相談してください。

弁形成術は、壊れた自分の弁を切り取らずに、修復する手術です。特に僧帽弁前尖に対する形成術は、どこの病院でも出来るわけではないため、相談してください。また、術後の管理も重要ですので、ご相談ください。

動脈の手術；

動脈の手術は、主に動脈瘤や動脈閉塞に対して行われます。動脈瘤は、動脈がこぶ状になって破裂するというものです。最近では、ステントグラフトという人工血管を、血管の中から挿入するという、比較的体にやさしい方法がとられはじめています。ステントグラフトは、瘤の位置や形で出来ないこともあり、ご相談ください。

動脈の手術後の管理にはCT検査が有用です。下図は腹部大動脈瘤の手術前（向かって左）と、人工血管での術後（向かって右）の3D CT画像です。



動脈閉塞の治療は、動脈の狭い部位、詰まっている部位がどこか、どのぐらいの長さで詰まっているのか、などで変わります。薬物療法、血管内治療（ステント治療など）、外科的治療（バイパス手術など）とさまざまな選択肢がありますので、専門医に聞いてもらうことが良いと思います。